

理解と協力をお願いします!

昨日から2月になりました。あつという間の1ヶ月でしたね。

新型コロナウイルス感染症は未だ衰えることなく、感染拡大しているようです。本校でもこれまで2クラスが学級閉鎖になってしまいました。すでにどちらのクラスも学校に戻って来れるようになりましたが、特に3年生は入試前ということもあり、大事をとって登校しないことを選択している人も多い状況です。

1.2年生のみなさんも先週24日(月)から部活動がストップしたことで、生活リズムを変えざるを得ない人が増えたと思います。



<集中! 縫い作業は超真剣!>

下校してからの生活、家庭学習等、有意義に過ごさせていますか?!
また翌25日(火)からは昼休みをやめ、給食の後片付けのための時間としました。これにより5分間短縮されることになりました。エネルギーに満ちあふれたみなさんには、本当に申し訳ないと思いますが、感染拡大を少しでも抑えるための措置です。理解と協力をお願いします。
3年生を中心に、あの時間グランドで元気に過ごすみなさん、マスク着用ということで、くれぐれも無理のないように遊んでくださいね。



3年間の真価が問われています。

3年生のみなさん、卒業が来月に迫ってきました。

そんなみなさんにメッセージがあります。この香芝北中学校で過ごした3年間で「何を学んだか」「どんな力をつけることができたか」今、その真価が問われているということです。正直、ここ最近気になる行動が増えているように思います。朝の登校時間のこともそうです。先日、ある3年生の担任の先生がギリギリに登校してきた3年生に対して「前できてたことが、できなくなるってあ



かんやろ!」と真剣な眼差しで声をかけていました。ホンマ、その通りだと思います。日々成長とまでは行かなくても、今までできていたことができなくなるのはアカンと思います。また一部の人かもしれないが、目に余る行動が見られるのは本当に残念です。

不安な気持ちは誰しもあるでしょう。それはごく自然なことです。しかし、それを理由に何をしてもしないということにはなりません。とにかくこれまでのことを帳消しにしてしまうような言動は絶対に慎みなさい。

卒業を前に、自分の真価が問われていることを肝に銘じ、残された時間を最上級生として立派に過ごしてくれることを願っています。



みなさんに田川ヒロアキさんを紹介합니다。

昨年行われたパラリンピック2020の開会式でデコトラに乗った4人のミュージシャンが演奏していたのを観た人がいるかもしれません。

かつてBOΦWYというロックバンドのギタリストだった布袋寅泰氏の右側で黄色のロングヘアにサングラスで観たこともないような弾き方で赤いギターを弾いていた人がいました。田川ヒロアキさんです。

実は彼は全盲のギタリスト。3歳ぐらまではうっすら光を感じたらしいですが、その後全く見えなくなったそうです。小さい頃から音楽に興味があったようで、ご両親がピアノを習わせてくださったとのこと。その後ギターに行く訳ですが、何せ人がギターを弾く姿を見たことがないことで、独自の奏法が生まれました。彼はギターのネックの上からフレットを押さえます。当初は『全盲のギタリスト』という取り上げられ方が多かったですが、今はその実力で評価されています。パラリンピックの開会式に出演するチャンスを得たのも話題性からではなく、自ら応募し、最終選考まで残られ、出演が決まったんです。

とにかく田川さんは明るいです。見えないことをさほどハンデには感じてません。日常生活において、もちろん苦勞することは多いはずですが、ポジティブな考え方で、曲作りやライブ活動を心の底から楽しんでおられます。先日もお会いしたのですが、パラリンピックの時の話を嬉しそうに語って下さいました。

本校に来てもらって彼の前向きなことばをみなさんにぜひ語ってほしいなあって思っています!



<5年前セッションさせてもらいました。>